水質第1課
ダイオキシン類分析委託

仕 様 書

京 都 市 上 下 水 道 局

建設リサイクル法	
☐ 適用	☒ 適用外

水質第1課 作業仕様書（委託）

第1 総則

1 疑義

仕様書等に明示されていない事項があるときは、発注者及び受注者が協議してこれを定める。

2 法令などの遵守

受注者は、作業の履行に当たり、建設業法、労働基準法、労働安全衛生法、廃棄物の処理及び清掃に関する法律（廃棄物処理法）、建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律（建設リサイクル法）、電気事業法、電気設備に関する技術基準を定める省令、道路交通法、公害関係法規、職業安定法及び本作業に関係するその他の法規を遵守し、関係官公署の命令、指示に従わなければならない。

3 単位

使用する単位は、国際単位系（SI）を標準とする。

4 作業の中止

次の場合、発注者は作業の一部又は全部について、中止を命ずることがある。この場合、受注者にその責任があるときは、損害が生じても発注者は補償しない。

- (1) 受注者が発注者の指示に従わないとき。
- (2) 受注者に作業遂行の能力がないと発注者が判断したとき。
- (3) その他必要が生じたとき。

5 水及び電力

作業に必要な水及び電力は、発注者が支給する。ただし、支給を受けるに当たって、受注者は監督員の指示に従わなければならない。指示に反するときは、発注者は支給を止めることができる。

6 就業時間

就業時間は、休日を除く日の午前8時30分から午後5時15分まで（午後0時から午後1時までを除く）とする。ただし、作業の進行上、やむを得ずこの時間外に就業を必要とする場合は、あらかじめ監督員に願い出て承諾を受けなければならない。

7 保護養生

受注者は、作業の履行に当たり、既施設を汚損又はこれらに損傷を与えるおそれがあるときは、適切な保護養生を行わなければならない。

8 安全衛生管理など

受注者は、作業の履行に当たり、次の各号に掲げる事項を遵守し、労働環境の安全衛生及び災害防止を図らなければならない。

- (1) 労働基準法、労働安全衛生法などの関係法規に基づき、危険防止設備などを設け、安全衛生管理を十分に行わなければならない。
- (2) 施設、仮設物などには適切な保安措置を行い、火災、その他災害の防止に留意しなければならない。
- (3) 作業中は、必要に応じ、専任の要員を配置し、現場内の巡視、整理清掃を行わなければならない。特に、歩行者の安全対策については、特記仕様書の指示事項を遵守し、安全確保に努めなければならない。
- (4) 発注者は、必要に応じて、業務に従事するものの検便検査結果、その他の衛生検査結果の提出を求めることがある。

9 環境保全

受注者は、「建設工事に伴う騒音振動対策技術指針」（建設大臣官房技術参事官通達、昭和 62 年 3 月 30 日改正建設省経機発第 58 号）、関連法令並びに仕様書の規定を遵守の上、騒音、振動、大気汚染、水質汚濁等の問題については、施工計画及び作業の実施の各段階において十分に検討し、周辺地域の環境保全に努めなければならない。

10 臨機の措置

受注者は、災害防止等のため必要があると認めるときは、臨機の措置をとらなければならない。また、受注者は、措置をとった場合には、その内容を直ちに監督員に通知しなければならない。天災等に伴い、作業目的物の品質・出来形の確保及び工期の遵守に重大な影響があると認められるとき、発注者は、受注者に対して臨機の措置をとることを請求することができる。

第2 受注者提出書類一覧

- 1 受注者が発注者に提出する書類は下表のとおりとする。ただし、特記仕様書に提出書類についての記載がある場合は、特記仕様書が優先する。
- 2 受注者は、下表及び特記仕様書に記載のない書類についても、監督員から指示された書類については、逐次提出しなければならない。
- 3 提出書類の様式については監督員の指示に従うこと。
なお、様式は原則として京都市上下水道局のウェブサイトに掲載されている様式を使用すること。また、様式の読替え等については監督員の指示に従うこと。

区分	書式名	部数	摘要
着手前	労働保険関係成立証明書	1	労働保険料申告書（事業主控）、労働保険料納付書（領収証書）、労働保険料等口座振替結果のお知らせのいずれかでもよい。
	再委託承諾申請書	1	再委託のある場合
	再委託の承諾に係る確認書類	1	必要に応じて
	業務体系図	1	再々委託のある場合
完成時	完成通知書	2	
	完成図書（作業報告書）	1	
	請求書	1	

第3 特記事項

1 作業概要

本分析委託は、原水1箇所、浄水1箇所の試料を採水し、ダイオキシン類の濃度を測定するものである。

なお、本仕様書中のダイオキシン類とは、ポリ塩化ジベンゾーパラージオキシン、ポリ塩化ジベンゾフラン及びコプラナーポリ塩化ビフェニルの総称をいう。

2 作業場所

水質管理センター水質第1課 他

作業場所詳細一覧

京都市東山区粟田口華頂町3番地	水質管理センター水質第1課
大津市観音寺3-3	第2 疏水取水口

3 完成期限

令和8年1月30日とする。

4 資格要件

受注者は水道法第20条第3項による登録機関であること。

5 作業内容

(1) 分析対象及び採水場所

ダイオキシン類（計2箇所）

浄水	水質管理センター水質第1課 課内給水栓
原水	第2 疏水取水口

原水は水温・濁度・浮遊物質（SS）・pH値を同時に測定し、浄水は水温・濁度・遊離残留塩素・pH値を同時に測定すること。

(2) 採水方法及び分析方法

ア 採水容器、採水方法及び分析方法は、「水道原水及び浄水中のダイオキシン類調査マニュアル（改訂版）」（平成19年11月 厚生労働省健康局水道課）に準じること。

イ 採水に必要な器具の用意、試料の採水及び運搬は、受注者が行うこと。

ウ 第2 疏水取水口での採水は、疏水事務所大津管理棟内に設置された水質自動監視装置から採水すること。

6 注意事項

(1) 試料の採水にあたっては、事前に局職員と、日程・方法について十分な打合わせを行うこと。

- (2) 受注者は、本分析委託によって知り得た一切の事項を漏洩してはならない。
- (3) 本分析委託において、受注者から納品される報告書にはクロマトグラム・検量線データ・濃度計算書等を含めること。また、検査結果をまとめる際は、ダイオキシン類の毒性当量濃度と最大見積濃度を併記すること。
- (4) 本分析委託の結果について、疑義のある場合は、再分析を命じることがある。